

平成 29 年大会アピール

本日、平成 29 年「北方領土の日」を迎え、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の返還実現を目指し「平成 29 年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。

北方四島が不法に占拠され 71 年が経過しました。この間、北方領土を故郷とする元島民の多くの方々は故郷に戻るとの願いが叶わず亡くなりました。解決がこれ以上長引くことを断じて許すわけにはいきません。

日露両国は、近年北方領土問題解決に向け活発な外交交渉を展開してきました。その成果、昨年 12 月、プーチン・ロシア大統領が 11 年ぶりに公式来日し、日露首脳会談が行われました。首脳会談では、平和条約締結に向け新しいアプローチに基づき交渉を進めることになりました。

こうした現状を踏まえ、私たちは、「北方領土の日」制定の基本である北方領土問題を解決し、その上で日露両国間に平和条約を締結し、両国間に真の平和と友好が構築されることを求め、これまでも増して北方領土の返還要求運動に取り組みます。

大会では、領土問題の解決に向け、日露関係の新時代を迎えた今、政府と国民が一体となり、これまで以上に国内外に向け広範な返還要求運動を展開すると共に今回の首脳会談を踏まえ、領土問題解決に向け実務的な交渉の加速を後押しすることと、返還実現に向けて役割を果たす意思の統一が確認されました。

私たちは、一刻も早い北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一．私たちは、北方四島の返還実現を目指し行動を推し進めます。
- 一．私たちは、地域・職場・学校・家庭など、あらゆる場で啓発活動を行うとともに、返還実現に向け政・官・民のさらなる団結を深めます。
- 一．私たちは、全国の仲間との連携をさらに深め、署名活動をより一層推進します。
- 一．私たちは、北方四島ビザなし交流など、あらゆる機会を活かし、北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを訴えます。
- 一．私たちは、北方領土に残存する日本の建物保存に取り組みます。

平成 29 年 2 月 7 日 北方領土の日

平成 29 年北方領土返還要求全国大会